

北林 丈人 様

(組織名 ; SCC /年次 ; 1年次)

～社会人基礎力向上を目指した～

【 BConパーソナルサーベイ返却資料 】

本サーベイは、経済産業省が公表する”社会人基礎力”の能力要素を株式会社ビジネスコンサルタント (BCon) が従前から保有する個人診断プログラムと組み合わせ、BConが独自に作成したものです。

◇はじめに

◇「社会人基礎力」とは ～経済産業省ホームページより抜粋

◇BConパーソナルサーベイ(社会人基礎力アンケート)質問一覧

◇全体平均 BConパーソナルサーベイ 社会人基礎力発揮発現度/啓発欲求度

[全項目平均/社会人基礎3力別平均/12能力要素別平均]

今回/前回/前々回 比較

◇全体平均 BConパーソナルサーベイ 質問項目別

今回ー前回(前々回) 差異比較&今回全体認知幅(最大/最小)

◇全体平均 BConパーソナルサーベイ 社会人基礎力発揮発現度/啓発欲求度

■全体総合コメント

◇個人データ分析の着眼・留意点

◇個人別集計 BConパーソナルサーベイ 社会人基礎力発揮発現度/啓発欲求度

[全項目平均/社会人基礎3力別平均/12能力要素別平均]

今回/前回 比較

◇BConパーソナルサーベイ 質問項目別

今回ー前回 差異比較&今回全体認知幅(最大/最小)

◇(参考)自己分析シート

2018年1月

◇はじめに 『社会人基礎力向上を目指したBConパーソナルサーベイ』データの見方・留意点

本サーベイは、経済産業省が公表する“社会人基礎力”の能力要素を、株式会社ビジネスコンサルタント(BCon)が従前から保有する個人診断プログラムと組み合わせ、BConが独自に作成したものです。

- 本サーベイは、人間を評価したり決めつけたりするための診断ではありません。また、知識試験や知能テストのように、結果に対して正解/間違いや、良い/悪いがあるわけではありません。
- 本サーベイは、社会人基礎力の枠組み(3つの基礎力・12の能力要素)において、現状自分自身がどの程度発揮しているのか【発揮発現度】、また今後どの程度啓発開発していきたいのか【啓発欲求度】、の2つの切り口から自己点検したものです。
- 各質問に対する回答尺度は以下の通りです。

尺度

1 2 3 4 5 6 7 0

全く同意しない 同意しない やや同意しない どちらとも言えない やや同意する 同意する 全く同意する 分らない

4点以下は、発揮しているとはいえない、啓発したいと欲しているとはいえない、と解釈します。
4点より大きく5点未満については、発揮している(啓発したいと欲している)もののグレーゾーンにあって高くはない、と解釈します。

なお、[0;分からない]については算定せず、スコア欄には[－]と表記されます。

なお、前回(2016年12月)入社前の内定期間に受診され、今回2回目となりますが、入社後約9ヵ月間、日々仕事や職場生活を通じて、啓発に取り組まれてきたことと思われます。今回はその啓発努力の結果が表記されています。

- そこで今回は、前回と異なる新しい環境・ステージではありますが、前回比較を見ていただくようデータ表記しております。このデータをもとに、入社後9ヵ月の行動や成長を振り返っていただくことが望まれます。なお参考までにP－5に今回受診された1年次から3年次の総計180名の方々の全体平均について、データから読み取れる傾向・特徴がコメントされています。データの見方の参考としてお目通しください。

加えて、P－6に『BConパーソナルサーベイ』個人データ分析の着眼・留意点が記載されています。これを参考に、自己の個人データを読み込み分析し、P－9自己分析シートに書き出してみることをお奨めします。

- 人によっては、周囲からの期待レベルを理解して、入社前に自分自身が持っていた発揮度基準がより高まり、「こんなものでは認められない」と発揮発現度スコアが下がった人もいるかもしれません。また、本当に意識して啓発努力を続け、発揮発現度スコアが高くなった人もいることでしょう。
- また、前回(入社前)との比較により、発揮度がアップして十分に身についたので今後の啓発欲求が下がった人もいるでしょうし、発揮度がダウン(または発揮度基準がアップ)したため問題意識を持ち今後の啓発欲求が高まった人もいることでしょう。
- いずれにしても、発揮発現度および啓発欲求度がアップないしダウンした、その背景や要因、またご自分の姿勢・スタンス・啓発意欲について、じっくりと振り返ってみることが重要になります。本データは振り返りの手がかりを提供しています。また、周囲の他者からも意見をもらってみることをお奨めします。これらの振り返りをもとに、再度、今後の啓発目標の設定と、実行計画の作成もしくは行動のガイドラインの設定をすることが、効果的です。

是非、本サーベイを通じて、今後のご自身のさらなる啓発・成長を期待しております。

◇「社会人基礎力」とは

経済産業省ホームページより抜粋

経済産業省 2006年1月20日公表 社会人基礎力に関する研究会-「中間取りまとめ」- より

経済産業省では、「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」（「社会人基礎力」）を定義し、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力に整理しました。

①「前に踏み出す力」（アクション）

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～

・実社会の仕事において、答えは一つに決まっておらず、試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら、一歩前に踏み出す行動が求められる。失敗しても、他者と協力しながら、粘り強く取り組むことが求められる。

②「考え抜く力」（シンキング）

～疑問を持ち、考え抜く力～

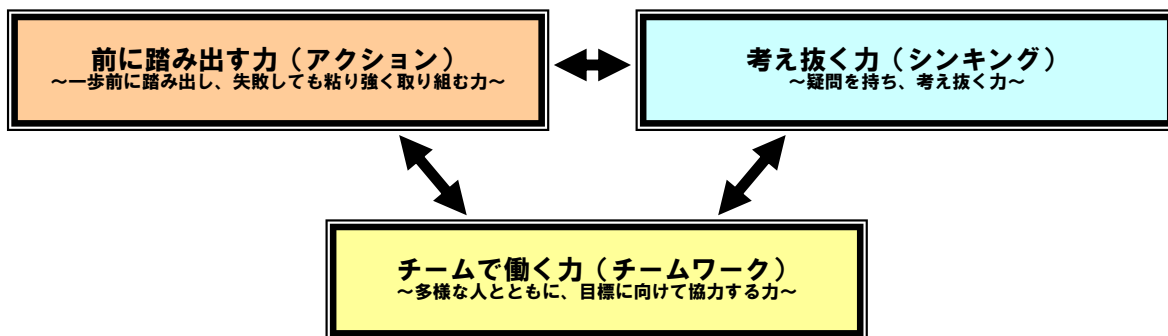
・物事を改善していくためには、常に問題意識を持ち課題を発見することが求められる。その上で、その課題を解決するための方法やプロセスについて十分に納得いくまで考え抜くことが必要である。

③「チームで働く力」（チームワーク）

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～

・職場や地域社会等では、仕事の専門化や細分化が進展しており、個人として、また組織としての付加価値を創り出すためには、多様な人との協働が求められる。自分の意見を的確に伝え、意見や立場の異なるメンバーも尊重した上で、目標に向けともに協力することが必要である。

（参考1：社会人基礎力を構成する3つの能力）



（参考2：社会人基礎力の3つの力を構成する12の能力要素）

分 類	能力要素	内 容
前に踏み出す力 （アクション）	主体性	物事に進んで取り組む力 例）指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力 例）「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。
	実行力	目的を設定し確実に行動する力 例）言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。
考え抜く力 （シンキング）	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力 例）目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 例）課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。
	創造力	新しい価値を生み出す力 例）既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。
チームで働く力 （チームワーク）	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力 例）自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力 例）相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力 例）自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 例）チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力 例）個々の職業倫理に照らし、自らの発言や行動を適切に律する。
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力 例）ストレスを感じることがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。

◇BConパーソナルサーベイ(社会人基礎力アンケート)質問一覧

社会人基礎力	能力要素	NO	質問項目	質問文
Ⅰ (前に踏み出す力)	A.主体性	4	自主行動化	人から指示されたり必要に迫られたりする前に、自ら事を起こしている。
		16	主体役割	チームや職場が困難な課題に直面しているとき、自分が貢献できることや役割を率先して行っている。
		40	高基準率先	仕事や状況で要求されている以上のレベルを目指し、自ら率先して取り組んでいる。
		28	A.ジレンマ度	自らやるべきことを見つけて積極的に取り組んでいきたいが、何をすべきかわからず、指示や要請を待つときがある。
		52	A.欲求度	今以上に、先々の状況を読んで自らやるべきことを見つけ、主体的に取り組んでいきたい。
	B.働きかけ力	8	巻き込み	実施しようとすることをスムーズに展開するために、キーパーソンや関係者を事前に巻き込み、意見や情報を収集している。
		20	動員先導	人を動員し、集団を方向づけ、先導することを好んで行っている。
		44	成功イメージ	どのような状況であっても、職場やチームの成功イメージを明確に示して、周囲の人たちを引っ張っている。
		32	B.ジレンマ度	課題達成に向けて周囲の人々に働きかけて巻き込んでいきたいが、周囲の人々から断られることを恐れ躊躇することがある。
		56	B.欲求度	今以上に、課題達成に向けて周囲の人々に働きかけ、巻き込んでいきたい。
	C.実行力	12	曖昧耐性	先の見えないあいまいな状況でも、不安になったり、投げ出したりすることなく、目的達成に向け、粘り強くその状況打開に取り組んでいる。
		24	達成執着	たとえ困難な状況に直面しても、最後まで成果を上げることこにこだわり続け、あきらめることなく、あらゆる手立てを打つ。
		48	粘り強さ	取りかかった課題や問題は、困難なことがあっても、くじけずに粘り強くやり遂げようとする。
		36	C.ジレンマ度	自ら高い目標を設定して挑戦してきたいが、やりきる自信がなく、困難に直面すると途中であきらめてしまうときがある。
		60	C.欲求度	今以上に、自ら高い目標を設定して挑戦し、徹底的にやりきってきたい。
Ⅱ (シンを考える力)	D.課題発見力	2	最重要要因	問題を発見した際、原因を細分化し、さまざまな原因の繋がりを整理分析して、最も重要な要因を突き止めている。
		14	全体像把握	断片的な情報を自分の頭の中でつなぎ合わせ、即座に問題の全体像を突き止めている。
		38	改善提言	今後の組織内外の変化を予測し、将来に起こるさまざまな業務上の問題を感じ取って、何を改善する必要があるかを提言している。
		26	D.ジレンマ度	現状解決すべき課題や問題を明確にして問題提起してきたいが、何が課題・問題なのか分からないときがある。
		50	D.欲求度	今以上に、現状の解決すべき課題や問題を的確に分析して明確にしていく能力を高めていきたい。
	E.計画力	6	次展開	目先の問題解決だけでなく、打つ手立ての先々の波及効果を考慮し、次の展開やステップ、シナリオまで論理的に描いている。
		18	ベスト決定	早まった判断・決定を避け、可能な限り、複数案と比較したり、リスクやデメリットの検討を行ったりして、ベストの決定を下す。
		42	抜かりなさ	計画策定に際し、さまざまな面から派生効果や、例外的な事態までいろいろと想定した抜かりないものをつくっている。
		30	E.ジレンマ度	課題の解決案を複数考えて最善策を準備したいが、何が最善なのかわからなかったり、または一案しか考えられず準備が進まないときがある。
		54	E.欲求度	今以上に、抜かりなくかつ的確に、課題解決策や計画を組み立てていく能力を高めていきたい。
	F.創造力	10	新発想	データや情報を組み合わせたり展開したりして、新しい見方や発想を生み出している。
		22	異質融合	斬新なアイデアが必要な場面で、自らの発想だけでなく他の異質な発想を融合して、従来にないアイデアを考え出している。
		46	新規思考	習慣化したやり方を嫌い、新しいやり方を追い求め見出している。
		34	F.ジレンマ度	従来にない新しい発想で解決策を見出していきたいが、発想法がわからなくて、新しいアイデアや解決策はあまり出てこない。
		58	F.欲求度	今以上に、従来にない新しい発想で物事を考えたり解決策を見出したりする能力を高めていきたい。
Ⅲ (チームで働く力)	G.発信力	1	概念説明	複雑な事象・事態を、わかりやすく簡潔に表示・説明している。
		13	客観区分	相手に誤解が生じないように、事実と、推論・意見・感情を的確に区分して、表現・説明している。
		37	Aピール力	自分の意見・考えを言うべきときには、タイミングを逃さず、ポイントをはっきりと明瞭にして、アピールしている。
		25	G.ジレンマ度	自分の意見を整理してわかりやすく相手に伝えていきたいが、整理がつかずに相手からわかりにくいと指摘を受けるときがある。
		49	G.欲求度	今以上に、自分の意見をわかりやすく整理して相手に効果的に伝えていく能力を高めていきたい。
	H.傾聴力	3	共感理解	相手の発言の背景を聞き出し、相手の立場に立って心情を共感的に理解しようとしている。
		15	真意受容	相手の真意を最後まで聴く姿勢を示し、その人の立場や状況、心情をありのままに理解しようとする。
		39	傾聴	相手の発言に耳を傾け、言葉だけではなく、態度・表情からメッセージや気持ちをも的確に把握している。
		27	H.ジレンマ度	相手の意見や気持ち、またその背景を引き出して会話をしたいが、効果的な方法がわからず、表層的なやりとりになるときがある。
		51	H.欲求度	今以上に、相手の意見や気持ち、またその背景を効果的に引き出して、理解していく能力を高めていきたい。
	I.柔軟性	5	柔軟対応	ひとつのやり方にこだわることなく、状況の変化や相手に合わせ、新しいやり方を構築したり取り入れたりして柔軟な対応をしている。
		17	効果対応	他者の特徴、強み、行動スタイル、立場などを把握し、相手に応じた対応をして効果的な関係を築いている。
		41	冷静対応	もめごとやトラブルがあるときでも、取り乱すことなく落ち着いており、相手の考えや感情、立場を尊重しながら、建設的な対応をしている。
		29	I.ジレンマ度	意見が相違したとき、相手の意見や立場を理解・尊重して柔軟に対応したいが、柔軟性を欠いて溝が深まったり平行線になってしまうときがある。
		53	I.欲求度	意見が相違したとき、今以上に、相手の意見や立場・論点の違いを理解して、双方の意見の一致しないし妥結点を見出していく能力を高めていきたい。
	J.情況把握力	7	報連相	関係者への報告、連絡、相談を手抜きなく行い、信頼を得て、協働体制を築いている。
		19	当事者意識	組織や職場で起こる問題に対して、我関せずではなく、自分の問題として当事者意識を持って関わっている。
		43	役割感受性	状況の中で、自分がとるべき役割、自分でなければならない役割、自分に期待されている役割を感じ取り、周囲の期待に応えている。
		31	J.ジレンマ度	チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを察知して対応したいが、察知・理解できないときがあり、呆然としていることがある。
		55	J.欲求度	チームで仕事をするとき、今以上に、自分がどのような役割や期待を果たすべきかを察知・理解し、期待に応えていく能力を高めていきたい。
	K.規律性	9	誠実さ	社内外の人に対して、人間性や社会性を重視して、誠実な対応をしている。
		21	遵法	ルールを遵守し、違反行為にも目をつぶることなく行動し、周囲にも働きかけている。
		45	言行一致	日常における発言と行動が一致している。またとり決めた約束は必ず守っている。
		33	K.ジレンマ度	常に自分の職業倫理に照らし自らの発言や行動を律していきたいが、時として無意識に自己の欲求に流されていることがある。
		57	K.欲求度	今以上に、自分の職業倫理に照らして自らの発言や行動を律していきたい。
	L.ストレスコントロール力	11	成長機会	自分のキャリア目標の実現に向けて、たとえ障害に出くわしても、成長の機会と捉え、乗り越えている。
		23	切り換え	思いもよらない芳しくない結果にダメージを受けても、それを引きずるようなことはなく、気持ちの切り換えが早い。
		47	安定行動	感情的な衝突などストレスの高い状況の中であっても、感情的・衝動的にならず、常に前向きで安定した行動を保っている。
		35	L.ジレンマ度	ストレスを感じても前向きに捉えて自分を勢いづけていきたいが、ストレスを効果的にコントロールすることができないときがある。
		59	L.欲求度	ストレスを感じるとき、今以上に、ストレスの発生源を前向きに捉えて、自分を勢いづけていきたい。

◇全体平均 BConパーソナルサーベイ 社会人基礎力発揮発現度/啓発欲求度
[全項目平均/社会人基礎3力別平均/12能力要素別平均]

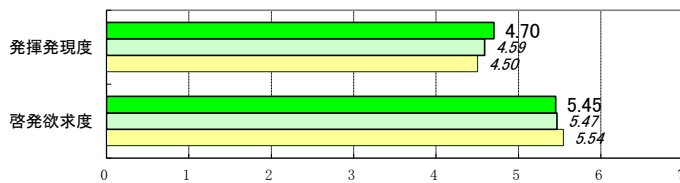
今回実施年月:2017年12月

今回(2017年12月)/前回(2016年12月)/前々回(2015年12月)比較

今回対象者総数:180名

■発揮発現度/啓発欲求度全項目平均

上段:今回、中段:前回、下段:前々回



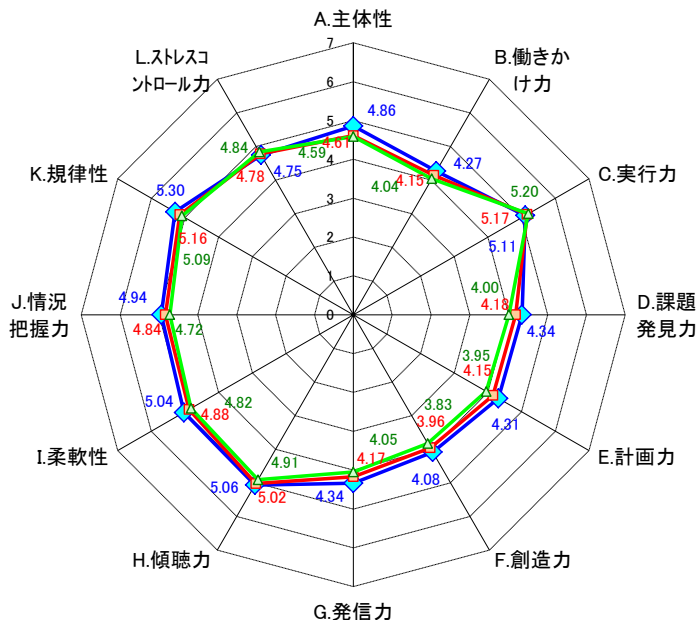
差異欄 (今回-前回)の網掛け
差異+1.5以上
差異-1.5以下

■社会人基礎3力 発揮発現度今回肯定順 (前回比較)

発揮発現度	今回 全体平均	前回 全体平均	今回 - 前回
Ⅲ. チームで働く力	4.90	4.81	0.10
Ⅰ. 前に踏み出す力	4.74	4.64	0.10
Ⅱ. 考え抜く力	4.25	4.10	0.15

※スコア欄の青数値は該当全項目平均よりも大きく、
赤数値は該当全項目平均よりも小さいことを表しています。

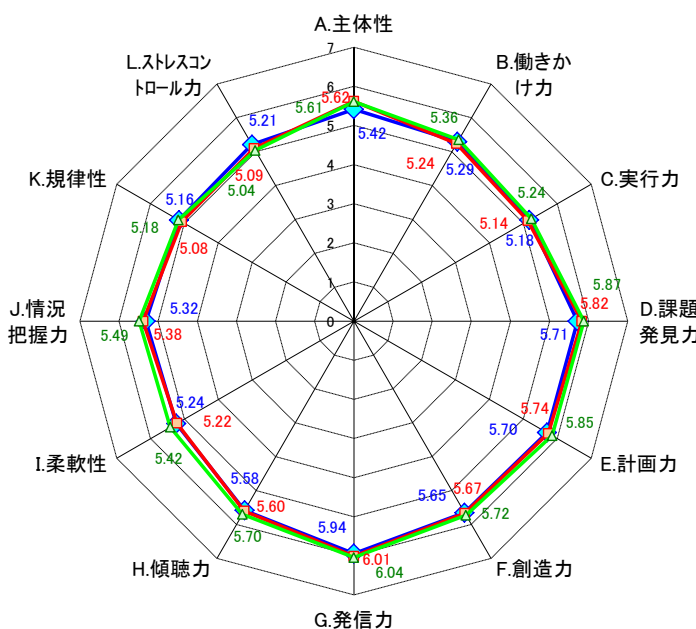
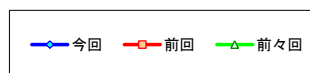
■発揮発現度12能力要素別平均



■発揮発現度12能力要素別スコア今回肯定順 (前回比較)

今回 肯定順	発揮発現度	今回 全体平均	前回 全体平均	今回 - 前回	前回 肯定順
1	K. 規律性	5.30	5.16	0.14	2
2	C. 実行力	5.11	5.17	-0.06	1
3	H. 傾聴力	5.06	5.02	0.04	3
4	I. 柔軟性	5.04	4.88	0.15	4
5	J. 状況把握力	4.94	4.84	0.11	5
6	A. 主体性	4.86	4.61	0.24	7
7	L. ストレスコントロール力	4.75	4.78	-0.03	6
8	D. 課題発見力	4.34	4.18	0.16	8
9	G. 発信力	4.34	4.17	0.17	9
10	E. 計画力	4.31	4.15	0.16	10
11	B. 働きかけ力	4.27	4.15	0.12	11
12	F. 創造力	4.08	3.96	0.13	12

■啓発欲求度12能力要素別平均



■啓発欲求度12能力要素別スコア今回降順 (前回比較)

今回 欲求降順	啓発欲求度	今回 全体平均	前回 全体平均	今回 - 前回	前回 欲求降順
1	G. 発信力	5.94	6.01	-0.07	1
2	D. 課題発見力	5.71	5.82	-0.11	2
3	E. 計画力	5.70	5.74	-0.04	3
4	F. 創造力	5.65	5.67	-0.02	4
5	H. 傾聴力	5.58	5.60	-0.02	6
6	A. 主体性	5.42	5.62	-0.20	5
7	J. 状況把握力	5.32	5.38	-0.07	7
8	B. 働きかけ力	5.29	5.24	0.05	8
9	I. 柔軟性	5.24	5.22	0.02	9
10	L. ストレスコントロール力	5.21	5.09	0.11	11
11	C. 実行力	5.18	5.14	0.04	10
12	K. 規律性	5.16	5.08	0.08	12

◇全体平均 BConパーソナルサーベイ 質問項目別

今回ー前回(前々回) 差異比較&今回全体認知幅(最大/最小)

今回対象者総数;180名

【 発揮発現度 】

※各能力要素にあるジレンマ度は認知スコアを逆転させて算定しています。

網掛け 6.00以上のスコア 網掛け 差異+1.50以上
網掛け 4.00以下のスコア 網掛け 差異-1.50以下

社会人基礎力	能力要素	No	質問項目	今回 前回 前々回 今回全体認知の幅							今回	前回	今回ー前回	今回全体 MIN	今回全体 MAX
				1	2	3	4	5	6	7					
Ⅰ (前に踏み出す力)	A.主体性	4	自主行動化								4.79	4.48	0.31	1	7
		16	主体役割								5.26	5.10	0.16	1	7
		40	高基準優先								5.06	4.78	0.28	1	7
		28	A.ジレンマ度								4.32	4.08	0.24	1	7
	B.働きかけ力	8	巻き込み								4.94	4.76	0.17	1	7
		20	動員先導								3.92	3.75	0.17	1	7
		44	成功イメージ								3.92	3.68	0.23	1	7
		32	B.ジレンマ度								4.39	4.35	0.03	1	7
	C.実行力	12	曖昧耐性								5.36	5.31	0.05	1	7
		24	達成執着								5.15	5.14	0.01	1	7
Ⅱ (シシキング力)	D.課題発見力	48	粘り強さ								5.42	5.45	-0.03	1	7
		36	C.ジレンマ度								4.50	4.76	-0.26	1	7
	E.計画力	2	最重要要因								4.96	4.69	0.27	1	7
		14	全体像把握								4.62	4.45	0.17	1	7
		38	改善提言								3.92	3.89	0.03	1	7
		26	D.ジレンマ度								3.88	3.68	0.20	1	7
	F.創造力	6	次展開								4.43	4.31	0.12	1	7
		18	ベスト決定								4.84	4.56	0.28	2	7
		42	抜かりなさ								4.18	3.95	0.24	1	7
		30	E.ジレンマ度								3.80	3.78	0.02	1	7
Ⅲ (チームで働く力)	G.発信力	10	新発想								4.51	4.25	0.26	1	7
		22	異質融合								4.10	3.99	0.11	1	7
		46	新規思考								4.19	3.95	0.24	1	7
		34	F.ジレンマ度								3.55	3.65	-0.10	1	7
	H.傾聴力	1	概念説明								4.71	4.43	0.28	1	7
		13	客観区分								4.98	4.79	0.19	1	7
		37	アピル力								4.45	4.31	0.15	1	7
		25	G.ジレンマ度								3.23	3.15	0.09	1	7
	I.柔軟性	3	共感理解								5.49	5.42	0.07	2	7
		15	真意受容								5.57	5.51	0.07	1	7
		39	傾聴								5.16	5.16	-0.00	2	7
		27	H.ジレンマ度								4.02	4.01	0.01	1	7
	J.状況把握力	5	柔軟対応								5.11	4.80	0.31	1	7
		17	効果対応								5.19	5.05	0.15	1	7
		41	冷静対応								4.97	4.79	0.17	1	7
		29	I.ジレンマ度								4.88	4.88	-0.01	1	7
	K.規律性	7	報連相								5.17	5.02	0.15	1	7
		19	当事者意識								5.14	5.14	0.00	1	7
		43	役割感受性								4.76	4.59	0.17	1	7
		31	J.ジレンマ度								4.69	4.59	0.10	1	7
	L.ストレスコントロール力	9	誠実さ								5.83	5.79	0.04	1	7
		21	遵法								5.38	5.18	0.20	2	7
		45	言行一致								5.20	4.88	0.32	1	7
		33	K.ジレンマ度								4.81	4.76	0.05	1	7
		11	成長機会								5.32	5.36	-0.04	1	7
		23	切り換え								4.52	4.42	0.10	1	7
		47	安定行動								4.83	4.81	0.01	1	7
		35	L.ジレンマ度								4.32	4.53	-0.21	1	7

【 啓発欲求度 】

※啓発欲求度のスコアは各能力要素にあるジレンマ度質問を加味して算定しています。

社会人基礎力	能力要素	今回 前回 前々回 今回全体欲求の幅							今回	前回	今回ー前回	今回全体 MIN	今回全体 MAX
		1	2	3	4	5	6	7					
Ⅰ (前に踏み出す力)	A.主体性								5.42	5.62	-0.20	3.00	7.00
	B.働きかけ力								5.29	5.24	0.05	2.33	7.00
	C.実行力								5.18	5.14	0.04	3.00	7.00
Ⅱ (シシキング力)	D.課題発見力								5.71	5.82	-0.11	2.00	7.00
	E.計画力								5.70	5.74	-0.04	3.00	7.00
	F.創造力								5.65	5.67	-0.02	3.33	7.00
Ⅲ (チームで働く力)	G.発信力								5.94	6.01	-0.07	4.00	7.00
	H.傾聴力								5.58	5.60	-0.02	3.33	7.00
	I.柔軟性								5.24	5.22	0.02	3.00	7.00
	J.状況把握力								5.32	5.38	-0.07	2.67	7.00
	K.規律性								5.16	5.08	0.08	1.67	7.00
	L.ストレスコントロール力								5.21	5.09	0.11	1.00	7.00

■全体総合コメント

今回対象者総数:180名

下記には、全体平均データから読み取れる傾向・特徴をコメントしていますが、あくまでもP-3、P-4のデータ・グラフの解釈例です。ご自身でも全体平均データを読み込み分析することをお奨めします。

●今回、180名の方々の全体平均を見ると、3つの社会人基礎力の中で、《Ⅲ. チームで働く力》《Ⅰ. 前に踏み出す力》を相対的な強みとして発揮発現していると認知していることが特徴です。また、発揮発現度の全項目平均ならびに3つの社会人基礎力全てにおいて、前々回、前回よりも大きく上回っていることも今回の特徴です。この1年間、啓発努力を費やし発揮度が高まったものと考えられます。

・12の能力要素における、現状の発揮発現度のスコアからは、4点以下の発揮不足と認識される能力要素は見られませんが、『F.創造力』『B.働きかけ力』『E.計画力』『G.発信力』『D.課題発見力』については5点未満のスコアでかつ相対的に低いスコアを示し、発揮度合いにやや問題意識を持っています。なお今回は、10の能力要素において前回は上回り、特に『A.主体性』は前回は0.24ポイントも大きく上回っています。

・一方、今後の啓発欲求度では、12の能力要素全てにおいて5点を上回る高い欲求が見られ、特に『G.発信力』『D.課題発見力』『E.計画力』『F.創造力』『H.傾聴力』についての啓発を相対的に強く欲しています。なお、今回の啓発欲求度の全項目平均は前々回、前回と比べやや低くなっています。また、7の能力要素において前回は下回り、特に『A.主体性』は前回は0.20ポイントも大きく下回っています。

●上記、現状の発揮発現度と今後の啓発欲求度の関係から、

・『G.発信力』『D.課題発見力』『E.計画力』『F.創造力』『B.働きかけ力』については、現状の発揮発現度にやや問題意識があり、啓発の必要性を強く認識していることから、今後、啓発・開発していく努力の投入が求められます。

・また、『A.主体性』『J.状況把握力』『L.ストレスコントロール力』については、現状ある程度発揮しているものの5点未満のグレーゾーンにあり十分に発揮できているとは言えないため、今後の啓発を強く欲しています。今後、より効果的に発揮していくために、啓発努力を投入しレベルアップを図っていくことが求められます。

・一方、『K.規律性』『C.実行力』『H.傾聴力』『I.柔軟性』については、現状よく発揮しているものの、さらに啓発したいという高い欲求が見られます。今後も啓発して、さらにレベルアップを図り磨きをかけていくことが望まれます。

・総じて今回は、前回に比べ発揮発現度が大幅にアップしているものの、高い啓発欲求度を維持していることが特徴です。なお、『A.主体性』については、発揮発現度が大幅にアップしているために、今後の啓発欲求度は大幅にダウンしたものと考えられます。現状の発揮発現度の大幅なアップに満足することなく、さらなる発揮度アップを目指して、さらなる啓発が期待されます。

■個人記入欄(全体平均データからの、気づき・学び、感想等)

★今回のデータについて

1. 発揮発現度に着目

- ①「発揮発現度全項目平均」より、社会人基礎力の発揮度合はどうか？(4点以下か、4点～5点のグレーゾーンか、5点以上か)
- ②「社会人基礎3力発揮発現度肯定順」より、相対的な強みとして発揮されている基礎力は何か？相対的に低いスコアの弱みは何か？
- ③「発揮発現度12能力要素別スコア肯定順」より、5点以上(発揮できている)の能力要素はあるか？、4点より大きく～5点未満(十分に発揮できているとは言えない)のグレーゾーンにある能力要素はあるか？、4点以下(発揮できているとは言えない)の能力要素はあるか？、相対的な強みとして発揮されている能力要素は何か？相対的に低いスコアの能力要素は何か？

2. 啓発欲求度に着目

- ①「啓発欲求度全項目平均」より、社会人基礎力の啓発欲求度はどうか？(4点以下か、4点～5点のグレーゾーンか、5点以上か)
- ②「啓発欲求度12能力要素別スコア降順」より、5点以上(啓発を強く欲している)の能力要素はあるか？、4点より大きく～5点未満(啓発を欲してはいるが強くはない)のグレーゾーンにある能力要素はあるか？4点以下(啓発を欲していない)の能力要素はあるか？

3. 各能力要素の発揮発現度と啓発欲求度との関係に着目

- ①発揮発現度が高く(5点以上)、啓発欲求度も高い(5点以上)能力要素はあるか？⇒もっと磨きをかけたい
- ②発揮発現度が高く(5点以上)、啓発欲求度は低い(4点以下)能力要素はあるか？⇒身につけている啓発不要
- ③発揮発現度が低く(4点以下)、啓発欲求度が高い(5点以上)能力要素はあるか？⇒未発揮のため啓発の必要性が高い
- ④発揮発現度が低く(4点以下)、啓発欲求度も低い(4点以下)能力要素はあるか？⇒自己矛盾、または必要性がないと認識している能力要素

★今回と前回のデータ比較について

1.「発揮発現度/啓発欲求度全項目平均」に着目

- ①発揮発現度/啓発欲求度それぞれは、前回よりアップしているか、ダウンしているか？
- ②発揮発現度と啓発欲求度の関係に変化は見られるか？ 発揮>啓発or発揮<啓発、

2.「社会人基礎3力発揮発現度今回肯定順」に着目

- ①各3力は、それぞれ前回よりアップしているか、ダウンしているか？
- ②3力間における相対的強み・弱みに変化が見られるか？

3.「発揮発現度12能力要素別スコア今回肯定順」に着目

- ①12の能力要素は、それぞれ前回よりアップしているか、ダウンしているか？
- ②12の能力要素間における相対的強み・弱みに変化が見られるか？

4.「啓発欲求度12能力要素別スコア今回降順」に着目

- ①12の能力要素は、それぞれ前回よりアップしているか、ダウンしているか？

5. 各能力要素における「発揮発現度」と「啓発欲求度」のアップ・ダウンの関係に着目

- ①発揮発現度・啓発欲求度ともにアップしている能力要素は？
- ②発揮発現度・啓発欲求度ともにダウンしている能力要素は？
- ③発揮発現度がアップしたため啓発欲求度がダウンした能力要素は？
- ④発揮発現度がダウンしたため啓発欲求度がアップした能力要素は？

■上記1.～5.の着眼点をもとに、どのように受け止めたか、どうしてそうなっているのか、自分のスタンス・姿勢・感情・気持はどうであったか、どんな環境が影響していると思うかなど、じっくりと振り返り、P-9の「自己分析シート」に記述してみることをお奨めします。

■また、今回データの着眼3.各能力要素の発揮発現度と啓発欲求度との関係で分類された能力要素について、質問文と再度照らし合わせ、今後の対処策・方向性を検討分析することをお奨めします。

◇個人別集計 BConパーソナルサーベイ 社会人基礎力発揮発現度/啓発欲求度
[全項目平均/社会人基礎3カ別平均/12能力要素別平均]

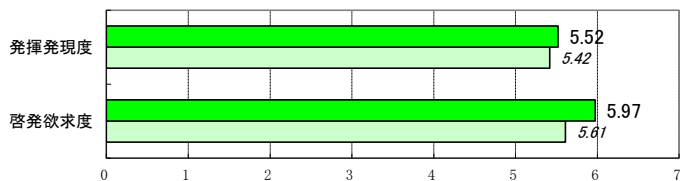
今回実施年月;2017年12月

今回(2017年12月)/前回(2016年12月)

氏名;北林 丈人 様

■発揮発現度/啓発欲求度全項目平均

上段:今回、中段:前回



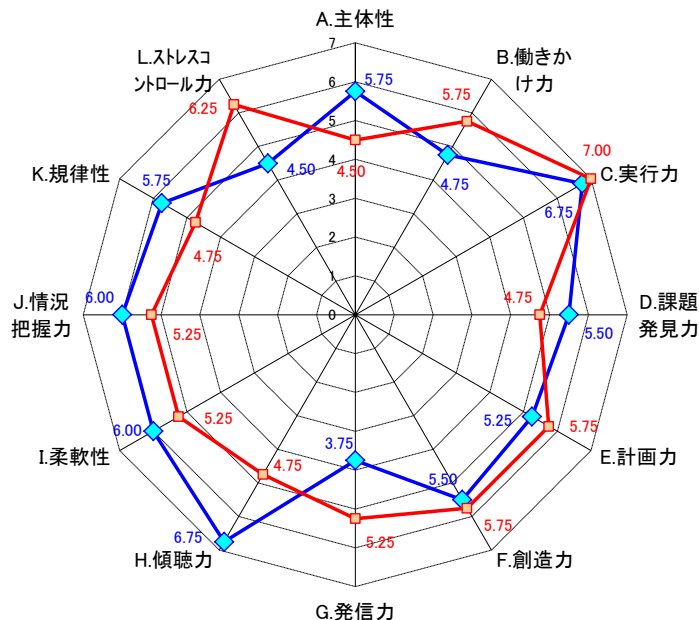
差異欄 (今回-前回)の網掛け
差異+1.5以上
差異-1.5以下

■社会人基礎3力 発揮発現度今回肯定順 (前回比較)

発揮発現度	今回スコア	前回スコア	今回-前回
I. 前に踏み出す力	5.75	5.75	0.00
III. チームで働く力	5.46	5.25	0.21
II. 考え抜く力	5.42	5.42	0.00

※スコア欄の青数値は該当全項目平均よりも大きく、
赤数値は該当全項目平均よりも小さいことを表しています。

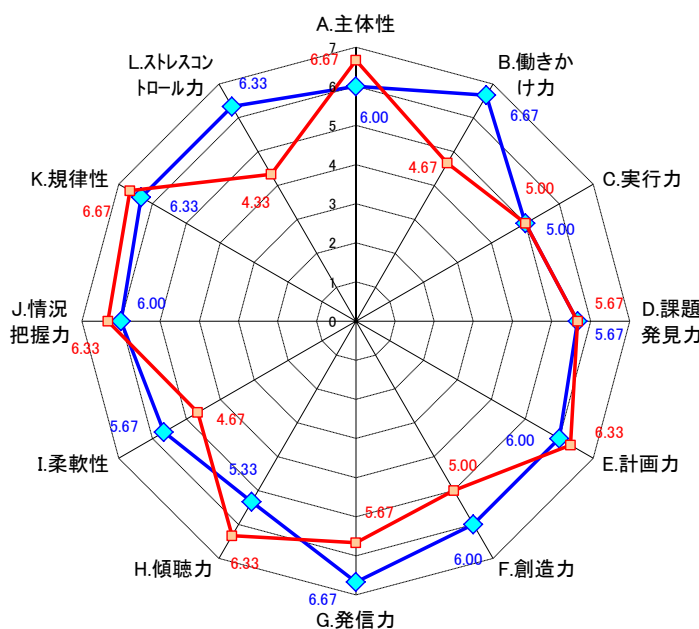
■発揮発現度12能力要素別平均



■発揮発現度12能力要素別スコア今回肯定順 (前回比較)

今回肯定順	発揮発現度	今回スコア	前回スコア	今回-前回	前回肯定順
1	C. 実行力	6.75	7.00	-0.25	1
1	H. 傾聴力	6.75	4.75	2.00	9
3	I. 柔軟性	6.00	5.25	0.75	6
3	J. 状況把握力	6.00	5.25	0.75	6
5	A. 主体性	5.75	4.50	1.25	12
5	K. 規律性	5.75	4.75	1.00	9
7	D. 課題発見力	5.50	4.75	0.75	9
7	F. 創造力	5.50	5.75	-0.25	3
9	E. 計画力	5.25	5.75	-0.50	3
10	B. 働きかけ力	4.75	5.75	-1.00	3
11	L. ストレスコントロール力	4.50	6.25	-1.75	2
12	G. 発信力	3.75	5.25	-1.50	6

■啓発欲求度12能力要素別平均



■啓発欲求度12能力要素別スコア今回降順 (前回比較)

今回欲求降順	啓発欲求度	今回スコア	前回スコア	今回-前回	前回欲求降順
1	B. 働きかけ力	6.67	4.67	2.00	10
1	G. 発信力	6.67	5.67	1.00	6
3	K. 規律性	6.33	6.67	-0.33	1
3	L. ストレスコントロール力	6.33	4.33	2.00	12
5	A. 主体性	6.00	6.67	-0.67	1
5	E. 計画力	6.00	6.33	-0.33	3
5	F. 創造力	6.00	5.00	1.00	8
5	J. 状況把握力	6.00	6.33	-0.33	3
9	D. 課題発見力	5.67	5.67	0.00	6
9	I. 柔軟性	5.67	4.67	1.00	10
11	H. 傾聴力	5.33	6.33	-1.00	3
12	C. 実行力	5.00	5.00	0.00	8

◇BConパーソナルサーベイ 質問項目別 今回ー前回 差異比較 & 今回全体認知幅(最大/最小)

氏名；北林 丈人 様

【 発揮発現度 】

※各能力要素にあるジレンマ度は認知スコアを逆転させて算定しています。

網掛け は6.00以上のスコア 網掛け は差異+1.50以上
網掛け は4.00以下のスコア 網掛け は差異-1.50以下

社会人基礎力	能力要素	No	質問項目	今回	前回	今回全体認知の幅	今回	前回	今回ー前回	今回全体MIN	今回全体MAX
Ⅰ (前に踏み出す力)	A.主体性	4	自主行動化	6.00	3.00	3.00	1	7			
		16	主体役割	7.00	7.00	0.00	1	7			
		40	高基準優先	6.00	6.00	0.00	1	7			
		28	A.ジレンマ度	4.00	2.00	2.00	1	7			
	B.働きかけ力	8	巻き込み	6.00	7.00	-1.00	1	7			
		20	動員先導	5.00	5.00	0.00	1	7			
		44	成功イメージ	6.00	5.00	1.00	1	7			
		32	B.ジレンマ度	2.00	6.00	-4.00	1	7			
	C.実行力	12	曖昧耐性	7.00	7.00	0.00	1	7			
		24	達成執着	6.00	7.00	-1.00	1	7			
		48	粘り強さ	7.00	7.00	0.00	1	7			
		36	C.ジレンマ度	7.00	7.00	0.00	1	7			
Ⅱ (シシキング力)	D.課題発見力	2	最重要要因	5.00	6.00	-1.00	1	7			
		14	全体像把握	6.00	2.00	4.00	1	7			
		38	改善提言	6.00	6.00	0.00	1	7			
		26	D.ジレンマ度	5.00	5.00	0.00	1	7			
	E.計画力	6	次展開	5.00	6.00	-1.00	1	7			
		18	ベスト決定	6.00	7.00	-1.00	2	7			
		42	抜かりなさ	6.00	7.00	-1.00	1	7			
		30	E.ジレンマ度	4.00	3.00	1.00	1	7			
	F.創造力	10	新発想	6.00	6.00	0.00	1	7			
		22	異質融合	6.00	5.00	1.00	1	7			
		46	新規思考	6.00	7.00	-1.00	1	7			
		34	F.ジレンマ度	4.00	5.00	-1.00	1	7			
Ⅲ (チームで働く力)	G.発信力	1	概念説明	4.00	7.00	-3.00	1	7			
		13	客観区分	5.00	4.00	1.00	1	7			
		37	アピール力	4.00	5.00	-1.00	1	7			
		25	G.ジレンマ度	2.00	5.00	-3.00	1	7			
	H.傾聴力	3	共感理解	7.00	5.00	2.00	2	7			
		15	真意受容	7.00	6.00	1.00	1	7			
		39	傾聴	7.00	5.00	2.00	2	7			
		27	H.ジレンマ度	6.00	3.00	3.00	1	7			
	I.柔軟性	5	柔軟対応	7.00	6.00	1.00	1	7			
		17	効果対応	7.00	6.00	1.00	1	7			
		41	冷静対応	5.00	3.00	2.00	1	7			
		29	I.ジレンマ度	5.00	6.00	-1.00	1	7			
	J.状況把握力	7	報道相	7.00	5.00	2.00	1	7			
		19	当事者意識	7.00	7.00	0.00	1	7			
		43	役割感受性	6.00	6.00	0.00	1	7			
		31	J.ジレンマ度	4.00	3.00	1.00	1	7			
	K.規律性	9	誠実さ	7.00	7.00	0.00	1	7			
		21	遵法	6.00	5.00	1.00	2	7			
		45	言行一致	7.00	5.00	2.00	1	7			
		33	K.ジレンマ度	3.00	2.00	1.00	1	7			
	L.ストレスコントロール力	11	成長機会	7.00	6.00	1.00	1	7			
		23	切り換え	6.00	6.00	0.00	1	7			
		47	安定行動	2.00	6.00	-4.00	1	7			
		35	L.ジレンマ度	3.00	7.00	-4.00	1	7			

【 啓発欲求度 】

※啓発欲求度のスコアは各能力要素にあるジレンマ度質問を加味して算定しています。

社会人基礎力	能力要素	今回	前回	今回ー前回	今回全体MIN	今回全体MAX
Ⅰ (前に踏み出す力)	A.主体性	6.00	6.67	-0.67	3.00	7.00
	B.働きかけ力	6.67	4.67	2.00	2.33	7.00
	C.実行力	5.00	5.00	0.00	3.00	7.00
Ⅱ (シシキング力)	D.課題発見力	5.67	5.67	0.00	2.00	7.00
	E.計画力	6.00	6.33	-0.33	3.00	7.00
	F.創造力	6.00	5.00	1.00	3.33	7.00
Ⅲ (チームで働く力)	G.発信力	6.67	5.67	1.00	4.00	7.00
	H.傾聴力	5.33	6.33	-1.00	3.33	7.00
	I.柔軟性	5.67	4.67	1.00	3.00	7.00
	J.状況把握力	6.00	6.33	-0.33	2.67	7.00
	K.規律性	6.33	6.67	-0.33	1.67	7.00
	L.ストレスコントロール力	6.33	4.33	2.00	1.00	7.00

◇(参考)自己分析シート

今回実施年月:2017年12月

氏名; 北林 丈人 様

- 1.「発揮発現度/啓発欲求度全項目平均」の観点から(今回・前回比較含む)
- 2.「社会人基礎3力発揮発現度肯定順」の観点から(今回・前回比較含む)
- 3.「発揮発現度12能力要素別スコア肯定順」の観点から(今回・前回比較含む)
- 4.「啓発欲求度12能力要素別スコア降順」の観点から(今回・前回比較含む)
- 5.「12能力要素別 発揮発現度と啓発欲求度の関係」の観点から(今回・前回比較含む)
- 6.総合分析①(今回・前回比較からの気づき、アップもしくはダウンの要因)
7. 総合分析②(今後の啓発計画・行動のガイドライン等)